

科目名		建築関連法規			
担当教員	西原 政宏	実務授業の有無	○		
対象学科	建築デザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	16時間
授業概要、目的、授業の進め方	建築業に関連する労務等の法規を中心に、管理に関する知識を講義を通して学ぶ。 1. 建築業において、法律上の規制、労務管理、申請手続き等の必要性を学ぶ。 2. 条件と規制に則した安全管理の基本を理解する。 3. 講義→小テスト→解答→解説を繰り返すことで重要性を理解・習得する。				
学習目標 (到達目標)	建築の施工に関する関連法規の基礎を学習し、工事監理・現場管理が円滑に進められるようにする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①2級建築施工管理技士 要点テキスト 建築関係法令集 発行：㈱総合資格学院				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	建設業法 ①建設業の許可について ②建設工事の請負契約について ③主任技術者及び監理技術者について 上記についての法規	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学と、練習問題で確認 達成目標：項目①～②の法に関する分類・構成・形式を理解・説明できる 準備学習：教科書①の予習			
2	労働基準法 ①労働契約について ②労働者の保護について ③就業制限について 上記についての法規	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学と、練習問題で確認 達成目標：項目①～②の法に関する分類・構成・形式を理解・説明できる 準備学習：教科書①の予習			
3	労働安全衛生法－1 ①安全管理体制について ②工事・設備計画の届け出について ③就業者の安全衛生について 上記についての法規	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学と、練習問題で確認 達成目標：項目①～②の法に関する分類・構成・形式を理解・説明できる 準備学習：教科書①の予習			
4	労働安全衛生法－2 ①騒音規制法 ②廃棄物処理法 ③リサイクル法について 上記についての法規	方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学と、練習問題で確認 達成目標：項目①～②の法に関する分類・構成・形式を理解・説明できる 準備学習：教科書①の予習			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
小テストに加え、レポートおよび平常点を加味して評価する。 小テスト60%、レポート20%、平常点20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		2級建築施工管理技士の学科試験の合格を目指す。また、2級建築士の学科試験よりは易しい試験なので、2級建築士を目指す人は90割以上基準点をクリアする必要がある 建築法規は、建築全てにおいて関係しており「法」を知ること、他の科目と関連性をもって学ぶ必要がある。法また定期的に小テストを行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、正解率の低い回答については、十分な解説を行う			
実務経験教員の経歴	設計事務所で建築設計・監理に7年従事				